

## 令和6年3月 「はこでみ親の会 フォローアップ！」

保護者の為のフォローアップの会を開催しました。

今回のフォローアップの会でひととき共感を集め盛り上がった話題は、子どもへの声かけが実は子どもの成長を妨げているのではないかという不安です。

「お風呂入りなさい」

「宿題しなさい」

「学校の準備はしたの？」

などの声かけは、多くの保護者の方が毎日のように我が子にしていると思います。しかし、その声かけによって子ども自身が自ら気づいたり考えたりしなくなっているのではないか。

参加されたあるお母様は、

**「結局私がいるから、親任せにして自分でできる事なのにしなくなっているような気がしてならないんです。」**と現在の心情をお話して下さいました。

確かに親から言われて気づいたり動き出す子はたくさんいると思います。(私もそうでした。)

皆さんはどう思われるでしょうか？

子どもに対しての声かけ支援はとても効果的ですし、発達特性を持つ子どもにとっては特に大切です。

今回の声かけ支援に対する不安の背景には、大人側の強い焦りが隠れています。

・今しないと後で必ず時間がなくなる

・このままでは寝る時間が遅くなる

・また絶対に忘れ物をする

など、日々の経験上、後々親子共々困った結果になることは分かっているので黙ってられない。

加えて、このままだと失敗を繰り返すばかりで生活スキルが身に付かないなど、子どもの将来への不安までもが覆い被さってきて焦りは更に大きくなってしまいます。

そこで今回の親の会では、

■**保護者の不安や心配**

■**子どもの生活状況や苦手な事**

■**日常的に行っている具体的な声かけ**

■**ご自宅での1日のスケジュール**

などをお聞きし具体的に整理していきました。

☆**声かけも大事**

☆**子どもの生活スキルも大事**

☆**親の焦りや心配も大事**

☆**子ども自身の気付きも大事**

☆**子どもの気持ちも大事**

つまり、否定したり自己嫌悪になったりする必要はありません。

これだ！という答えもありません。

悩んだ時こそ親の会で皆で協力して現状に合った対応策を見つけていきましょう！

